

医学部附属看護専門学校
令和6年度自己点検・評価及び学校関係者評価報告書

1 目的

実践的な職業教育等を目的とした自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえ、その達成状況や達成に向けた取組の適切さなどについて評価し、その結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について、学校外の関係者（以下「学外評価者」という）による学校関係者評価を受け、学校として組織的・継続的な改善を図ることにより、教育水準の向上を図ることを目的とする。

2 実施概要

① 自己点検・評価の実施

医学部附属看護専門学校（以下「本校」という）において、点検・評価項目を4項目設定した。

本校において、各点検・評価項目について自己点検・評価を行い、その結果について以下の4段階により評価をし、「自己点検・評価及び学校関係者評価票」を作成した。

（A:十分できている, B:おおむねできている, C:一部改善が必要, D:できていない）

<点検・評価項目>

①教育課程・教育活動は適切に実施・評価されているか。
②学生の単位修得に向けた支援を実施しているか。
③学生の支援を適切に行っているか。
④広報活動は適切か。

② 学校関係者評価の実施

- (1) 学外評価者による評価は、本校からの提供資料によるほか、授業、学校行事等の見学、校長・教職員及び学生との面談により行った。
- (2) 本校から「自己点検・評価及び学校関係者評価票」の各評価項目についての資料等を提示し、評価結果及び取組状況等を学外評価者に説明した。
- (3) 各学外評価者が、評価結果について「自己点検・評価及び学校関係者評価票」に取りまとめるとともに、以下の4段階により評価した。

（A:十分できている, B:おおむねできている, C:一部改善が必要, D:できていない）

- (4) 学外評価者の互選による代表者は、各学外評価者が記述した「自己点検・評価及び学校関係者評価票」を取りまとめ、「自己点検・評価及び学校関係者評価報告書」にて評価結果（総評）を作成した。

3 学外評価者

① 卒業生

東 百代（平成2年日本大学医学部附属看護専門学校卒業）

② 学校の専門分野における関係団体・関係業界

佐藤 みちよ（日本大学医学部附属板橋病院副看護部長補佐）

③ 地域住民

田草川 幸子

④ 保護者代表

渋谷 加奈

4 学校関係者評価協議会開催日時

① 第1回 令和6年10月16日（水）午後3時～午後4時

② 第2回 令和6年12月18日（水）午後3時～午後4時

上記日程のほか、学外評価者が分担した内容により、授業参観、実習見学及び若樹祭参加等適宜実施した。

5 評価結果（総評）

令和6年度の点検・評価項目については、令和5年度と同様の評価項目となっており、その取組評価は、①③がそれぞれA、②④がそれぞれB評価と学校の自己点検・評価結果と学校関係者の評価と合致する結果となった。

令和4年度のカリキュラム改正以降、新設科目の設置や実習開始時期の変更等、大胆な改革を実践していく中で、学生のアンケート結果では学習への動機付け・学修意欲の向上へとつながったとの回答を得るなど取組は評価できると考える。運用3年を経過した新カリキュラムの検証・評価については、附属病院の協力も得ながら卒業生の評価も含めた丁寧かつ多角的な検証が必要であると思料する。

学生支援については、日常の学習・生活支援、国家試験・就職・進学への支援、原級留置者への対応及びポータルサイトの活用等、教員と学生間のよりよい関係性を構築すべく日々の努力がうかがえる。また、カウンセラーによるメンタルヘルスケアは重要な支援と考えるため、学生が活用しやすい環境づくりをお願いしたい。

広報活動については、令和6年度の入学定員割れを受け、入学者選抜方式の拡充及び広報活動の見直しを行った。具体的には、多様な入試制度の導入やオープンキャンパス内容の充実、学校案内パンフレットの刷新やホームページの活用及び学校訪問の強化等積極的に活動・努力されている。入学者獲得に向けて、看護学校の強みや魅力の発信を継続していただくとともに更なる工夫と取組を期待する。

以 上